

会 議 録

会 議 名	第2回 和泉市総合計画審議会
開催日時	平成 27 年 12月 4日（金）午後3時から午後5時まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 4階中集会室
出席者	<p>(委員) 山本秀明委員、石原日出子委員、末下広幸委員、松田義人委員、岡博子委員、今城巧副会長、阪口吉男委員、西田清委員、松田良輝委員、浅井雅昭委員、上西恵子委員、椎場光穂委員、山本益也委員、橋本良孝委員、岡本雅彦委員、今川晃会長、村上あかね委員、篠原賢太郎委員、菊池隆夫委員、佐藤英治委員</p> <p>※戸江雅一委員は欠席</p> <p>(事務局)宮崎副市長、森吉公室長、黒木理事、小泉政策企画室長、佐々木企画経営担当課長、門林総括主査、蓮池主査、樋川主事</p>
議事次第	<p>1 開会</p> <p>2 和泉市総合戦略(案)の検討について</p> <p>3 その他</p>
会議資料	<p>【事前配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催通知 ・委員からの指摘・質問一覧 ・第1回会議録(案) <p>【机上配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 <p>資料1 総合戦略(案)人口ビジョン案へのご意見 資料2 総合戦略(案)人口ビジョン案へのご質問 資料3 市議会各常任委員会協議会での意見一覧</p>
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・和泉市総合戦略(案)、和泉市人口ビジョン(案)について検討を行った。 ・引き続き、次回会議において検討を行うこととした。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項	傍聴者 4名

発言者	審 議 内 容 (文中敬称略)
司会	<p>■ 開会</p> <p>大変長らくお待たせしました。</p> <p>ただ今から、第 2 回和泉市総合計画審議会を開催いたします。委員の皆様方におかれましては公私ご多用のところ、本委員会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>私は、政策企画室長の小泉です。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>本日の会議でございますが、戸江委員がご欠席、今城副会長が他の会議に出席されており、その会議が終了次第、遅れて出席されると伺っております。また、医師会会長の山本委員におかれましては、お仕事の都合上、途中退席となる旨、伺っております。したがって、委員の半数以上がご出席ですので、会議は有効に成立しております旨、ご報告いたします。</p> <p>続いて、前回、欠席されておりました委員を、順不同ですが、ご紹介いたします。</p> <p>和泉市商店連合会の西田委員です。(西田委員あいさつ)</p> <p>桃山学院大学 社会学部 准教授の村上委員です。(村上委員あいさつ)</p> <p>続きまして、お配りしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>ここで、会議録の作成について、再度、ご説明いたします。</p> <p>本会議の会議録作成のため、発言内容を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。また、発言の際は係の者がマイクをお持ちしますので、マイクのご使用をお願いいたします。なお、会議録作成後は録音内容を消去いたしますので、ご了承願います。また、会議録については発言者の氏名を公表して作成しますことを、併せてご了承願います。</p> <p>それでは、ここからの議事進行については、今川会長にお願いいたします。どうぞ、よろしくをお願いいたします。</p>
今川会長	<p>■ 和泉市総合戦略（案）の検討について</p> <p>それでは、早速、始めたいと思います。次第に従いまして会議を進めますが、17 時をめに終了させていただきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p> <p>委員の皆様方には、短い期間でしたが、事前にご意見、ご指摘を事務局までご提出いただき、ありがとうございます。本日の審議につきましましては、効率良く進めていくために、皆様のご意見、ご指摘を事務局にまとめていただいた資料 1 に基づいて進めたいと思います。</p> <p>資料 2 については、質問項目のみ取りまとめたものですので、審議は割愛させていただければと思います。</p> <p>また、本日、配布されました資料 3 は、市議会各常任委員会の協議会での意見一覧ですが、和泉市の市議会議員の皆様からのご発言ということで、ご配慮の上、ご審議をいただければと思います。</p> <p>進行につきましては、一定項目を区切りながら、資料 1 に記載されている内容を事務局に説明していただき、その後、ご意見を出された各委員から、意見の補足や事務局の対応方針に対する意見等がある場合はご発言を頂きたいと思っております。</p> <p>ただ、時間が限られております関係から、ご発言は端的にお願いいたします。もし長い場</p>

	<p>合は、申し訳ございませんが、私の方から短縮していただけるよう、お願いすることがあるかと思しますので、ご了承ください。なお、事務局によりますと、市の担当課と現在調整中の事項の他、場合によっては記載内容を一部修正する必要のある事項も生じていると聞いており、その事項については資料1において現在「調整中」と記載しています。したがって、現在「調整中」とされている項目については、第3回の会議で審議をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、資料1の項目1～5について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>● 1～5について (資料1 1～5について説明)</p>
事務局	
今川会長	<p>まず、意見を出された委員の方で、補足や事務局の対応方針にご意見のある方は挙手をお願いいたします。</p>
石原委員	<p>◆ No.4 について 障がい者の雇用促進の取組みについて意見を出しましたが、保護者にとって自立に向けた取組みは非常に大事です。将来ビジョンに記載することは難しいということですが、将来に不安があるので、「相談体制の充実」の中でしっかりと将来の自立に向けた取組みも含めて対応していただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
今川会長	<p>ご意見として承りました。 他に、事前にご意見を出された方で補足説明等がございましたら、お願いいたします。 (補足等、なし) それでは、それ以外の委員の方で1～5についてご意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。 (意見、質問等、なし) よろしいでしょうか。項目を追うごとにご意見も出てくることと思います。 それでは、次に6～10の項目に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>● 6～10について (資料1 6～10について説明)</p>
今川会長	<p>それでは、6～10について、ご意見を出された委員から補足説明等がございましたら、お願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>◆ No.8 について 今、和泉市の人口は約186,000人で、5年後の平成32年も同じくらいと推計されています。総合戦略のリーダーシップを持っている行政側は、総合戦略を実行するに当たってのマンパワーと予算が必要だと思いますが、それについて、今も5年後もマンパワーと予算が</p>

	<p>適正かどうかを伺いたいと思っています。今、仮に人口が10万人減ったとしても、多分、行政側は手薄になってついていけないと思いますので、例えば、今の人口と5年後の人口で、行政側が対応できるのかどうか、マンパワーと予算は適正なのでしょうか。</p>
今川会長	<p>行政側の5年後の対応についての質問ですが、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>5年後の対応については、財政当局が、人口推計に基づいて一定の市税等から財政の中長期的なシミュレーションを行っていますので、それに基づいて予算等を組んで、施策を立案することになります。</p> <p>平成27年からの5年間のまちづくりについては、躍進プランにおいて、財政フレームを踏まえた形で示せていると思っています。</p>
今川会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
菊池委員	<p>◆ No.6 について</p> <p>7ページの「まちづくりの基本方針」について、私なりに文章も視点も変えて作ってみました。これは肝になるところなので、相当に強い意志を持って取り組むという言い方が必要ではないかと思っています。国に対する和泉市の戦略ですので、特に言葉にはこだわりませんが、「時代とともに進む先進性、革新性」等のような表現、あるいは本当にそのような気持ちで取り組むという意思表示が必要ではないかと考えています。</p> <p>◆ No.7 について</p> <p>それから、No.7の8ページで「(4)変化の実感が少しずつ感じられ、次世代の人たちが期待をもてるまち」というのは、5年後、あるいは計画で言う10年後に初めて花開くようなことではないはずです。やはり、マイルストーン的な節目ごとに、今自分が生きている時もそういうことが実感できるような政策が必要です。10年先のことだけでなく、途中の過程に存在する、あるいは今いる人も感じられるという意味合いを含めて(4)を入れています。</p> <p>◆ No.9 について</p> <p>No.9、8ページのマイルストーンについては、確かに国は5年に1度ですが、地方自治体も一緒に良いかという、そうではないと思います。1年ごとが良いかどうかは別として、国が5年ごとだから地方自治体も5年ごとで良いということはないと思います。地方は国の下にあるわけですから、もっときめ細かな行政ができるのではないかと考えて記載しています。</p>
今川会長	<p>事務局の方からご意見はありますか。表現するのであれば、もう少し前向きに表現してほしいという点については、考えていただければと思います。</p> <p>その他の点でご意見はございますか。(意見等、なし)</p> <p>それでは、今の点も含めて、他の委員の方からご意見がありましたら、お願いします。変化の実感が少しずつ感じられるということで、5年先だけではなく、絶えず感じられるようにというのは、表面的には表現の問題であり、また、実際に活動しながら感じられるような</p>

山本委員	<p>何かをということかと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>ここに記載していませんが、人口ビジョンについて議論しているので、その辺りの意見も述べて良いでしょうか。</p>
今川会長	<p>関連する事柄でしたらお願いします。それで、本日の項目以外で、議論して後から思いついたとか、補足的に言いたいことがある方は、次回までに意見を出していただくようにしたいと思っています。関連する意見であれば、ご発言ください。</p>
山本委員	<p>◆ 目標人口の設定について</p> <p>関連するかどうか分かりませんが、目標人口が出生率による上位値をとって平成52年に179,000人と設定されています。しかし、出生率は国がある程度動かなければ上がらないので、和泉市が総合戦略の中で人口を伸ばしていくには、出生率以外にもいろいろな要因が必要であり、例えば、転入者を増やすなど、その部分について和泉市としては努力していかなければならないと思います。</p> <p>したがって、目標人口の設定方法として、国の要因によって上下することがあるので、それを基準として、和泉市は上回るような目標づけをすることが必要です。そうしない限り、国の出生率の対策が上がれば目標人口は達成されると思いますが、和泉市がいくら頑張っても国の出生率の政策が上手くいかなければ目標人口も下げ止まりになってしまいます。そういう意味で、一概に出生率から見た目標設定はいかがなものかと思えます。</p>
今川会長	<p>事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>No.7の「まちづくりの目標」で「(4)変化の実感が少しずつ感じられ、次世代の人たちが期待を持てるまち」「(5)知名度も上がり市民が誇りを感じるまち」という目標のご提案を頂いていますが、総合計画の重点施策の体系、その後の施策展開というところで、この(4)(5)にぶら下がる事務事業、取組みを今後展開する必要がありますので、(4)(5)のように目標を変更することはできないと考えています。ただ「実感が少しずつ感じられる」「知名度も上がり市民が誇りを感じる」というような内容を、計画のどこか一部に盛り込む等の対応によって、No.7については対応させていただきたいと思っています。</p>
今川会長	<p>先ほどの表現の問題も含め、もう少し前向きな気持ちも込めてお願いします。</p>
事務局	<p>人口について、先ほど「国が5年ごとに行っているから、地方自治体も一緒に良いのか」というご意見を頂きましたが、それについては、書き振りが悪かったかもしれません。国が5年ごとだからという理由で示しているわけではなく、人口は長いスパンで見なければならぬものであり、単年で判断するものではないと考えていますので、「国でも」というのは1つの例として挙げています。その点をご了解いただければと思います。</p> <p>また、人口ビジョンの推計についてご意見を頂きましたが、現在、人口ビジョンについて</p>

	<p>は合計特殊出生率 2.07 を最終的な目標として推計を行っています。元々の総合戦略については、国・府・市が総合戦略を立てて一体的に取り組んでいく中で、最終的に国が 2.07 を目指していくという目標となっています。合計特殊出生率については、都市部が低いという状況の中で、本市としては 2.07 という国が示している数値を目標としていることから、事務局としては本当に高い合計特殊出生率の目標と考えています。</p>
今川会長	<p>国勢調査は 5 年に 1 回なので、住民票の登録人口とは違います。住民票の登録人口は市の方でその都度把握されていますので、その推移を見ながら市の方も対応されているのではないかと思います。</p> <p>また、目標については、後で議論が出てくると思いますので、よろしくお願いします。</p>
村上委員	<p>私の専門から人口について補足しますと、1 年ごとの人口はいろいろな要因で大きく変動します。例えば、丙午は少ないし、74 年に平均初婚年齢が下がったり、テンポとカンタムの問題があったりするので、基本的には 5 年に 1 度に賛成です。一方で、細やかに見られる範囲は見るということにも賛成したいと思います。</p>
今川会長	<p>ご意見として承りたいと思います。他の委員の方々は 6～10 についてご意見ございませんか。(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>● 24～27 について</p> <p>それでは、第 2 章「基本目標」の検討を行います。先ほど事務局から説明がありましたように、医師会の山本委員が途中退席と伺っておりますので、山本委員がご発言されている 24～27 の項目を先に審議したいと思います。それでは、24～27 について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料 1 24～27 について説明)</p>
今川会長	<p>それでは、発言された委員から補足のご意見等がございましたら、お願いいたします。</p>
山本委員	<p>◆ No.24 について</p> <p>「定期的な健康チェックの推進」について「どのようにして、がん予防施策の充実に取り組むのでしょうか」と質問をしましたが、総合戦略案の 14 ページに「がん予防施策の推進」として、1 番に「がんの早期発見・早期治療につなげるため」と書かれており、次いで「和泉市がん対策推進条例に基づき～」と書いてあります。「がん予防施策の推進」であれば、第 1 に「和泉市がん対策推進条例に基づき～」という内容が出てくると思います。そして、「和泉市がん対策推進条例」の中で、例えばがん予防の推進やがんの早期発見の推進が羅列されますので、その順番に書かれてはどうかということで質問させていただきました。</p> <p>14 ページでは「がんの早期発見」があって、その次に「がん予防施策の充実に取り組みます」となっていますが、「がんの早期発見・早期治療」が一番のがんの予防施策の重点な</p>

	<p>ので、まず「がん予防施策の充実」という大項目があって、その下に「がんの早期発見・早期治療に努める」とか、あるいは、住民に対するがん予防の啓発や教育が並ぶと思いますので、その点をまとめ直していただいた方が分かりやすいのではないかと思います。</p> <p>◆ No.26 について</p> <p>もう1点は「がん検診受診率」について質問していますが、平成26年度の基準値が19.3%で平成31年度目標値が29%となっています。泉州地域はがん検診受診率が低く、大阪府は全国レベルと比べても低いのですが、その大阪府の中でも北摂地域はがん検診受診率が高くて、例えば、肺がん検診・大腸がん検診に関しては30%くらいの受診率となっています。</p> <p>和泉市に関しては、肺がん検診受診率が昨年まで個別化検診をしていなかったのが3.8%となっていました、個別化検診を始めてから一気に19.9%に上がりましたので、工夫次第で30%くらいまでは上がると思います。したがって、目標値に30%を掲げるのか、もう少し上を目指すのか等、もう少し伸び代があるのではないかと専門の目で見て感じたので、このような質問をさせていただきました。</p>
今川会長	事務局から何かございますか。
事務局	<p>まず、「がん予防施策の推進」については、1点目に「がんの予防施策」、2点目に「がんの早期発見」ということで取り込み方の順番が違うというご指摘であり、ご指摘のとおり、予防があって早期発見・早期治療、また住民に対する啓発というご意見の内容の方を検討させていただきたいと思っています。</p> <p>目標値については、実際に平成22年度～26年度まで7.8%伸びており、29%という数値が低いということなので、30%という値については担当課と調整したいと思っています。</p>
今川会長	<p>よろしく願いいたします。専門の先生から工夫しだいでまだ伸びるというご意見を頂いていますので、ぜひ検討をお願いします。</p> <p>では、24～27について、他の委員の方からご意見はございますか。</p>
石原委員	<p>◆ 受診率向上のための施策について</p> <p>受診率については、対象者が受診されていない場合、個別に連絡して受診を促す、コール・リコールという個別勧奨の施策もとられていると思いますので、それをもっと充実させて、受診率が向上するように取り組んでいただけたらと思います。意見として述べておきます。</p>
今川会長	<p>意見ですので、積極的に検討をお願いいたします。</p> <p>その他、ご意見、ご質問はございませんか。</p>
岡委員	<p>◆ 数値目標について</p> <p>この計画自身が、第4次総計をどこまで総合的に見直して、振り返った結果の計画になっているかどうかという点は全体として疑問がありますが、具体的にチェックが進んでいますので、例えば「定期的な健康チェックの推進」について言いますと、第4次総計の中で</p>

	<p>は他にも項目として、感染症対策で高齢者のインフルエンザ予防接種のこと、急病や重症を負っても安心して治療が受けられると感じている市民の割合が増えること、和泉市立病院の状況、自殺者が少ないこと、4ヶ月児健診が増えていること、乳幼児1人当たりの通院医療費が減っていること等が挙げられており、がん検診に関しては2015年に20%になっていると見通していました。</p> <p>それに対して、今回の総合戦略の内容は、あまりにも簡略化し過ぎているのではないかと思います。数値目標を出さないことになった結果、いろいろなものが具体的に数字のない計画になってしまうのではないかと、「重要業績評価指標」の部分だけで良いのかと懸念しています。</p>
今川会長	<p>特に「重要業績評価指標」で挙げるべき項目はあるでしょうか。それがあると、議論が進めやすいと思います。</p>
岡委員	<p>特に、高齢者の感染症対策の部分と、アンケートに基づくとありましたが、「自分は健康である」と感じている人が増えていくことを目標にするというところにもチェックを入れていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>ありがとうございます。事務局から意見はありますか。</p>
事務局	<p>第4次総合計画においては多数の指標を設けましたが、第5次総合計画では重点施策ということで、まず計画に記載しているものが重点的な取組みとなり、数が違うので必然的に指標は少なくなります。また、策定方針の中で説明していますように、行政評価の成果指標については計画本体ではなく、別冊の形で進めたいと思っていますので、そちらについては調整中であり、総合計画の審議の場で示させていただければと思っています。</p> <p>高齢者の感染症対策に関する指標等については、重点施策に位置づけるかどうかを含めて、担当課と調整したいと思います。</p>
今川会長	<p>よろしくお願いたします。この指標は非常に難しく、個別計画になると細かく指標が出るとお思いますので、何を重点的に設定するかがここの課題になります。是非、検討をお願いします。</p> <p>他の委員の方は、24～27についてご意見ございませんか（意見等、なし）</p>
今川会長	<p>●11～18について</p> <p>それでは、戻りまして11～18について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1 11～18について説明)</p>
今川会長	<p>まず、ご意見を出された委員から、ご指摘やご意見がありましたらお願いします。</p>

石原委員	<p>◆ No.15 について</p> <p>15 の「健診の充実」について、総合戦略の中では「虐待」という言葉がありません。今は虐待が大きな問題になっており、健診の時間が一番見つけやすいのですが、疾病の予防等の中に「虐待」という言葉を入れていただくのは難しいのでしょうか。</p>
事務局	<p>その前段として、総合計画における重点施策があり、個別に「和泉市子ども・子育て応援プラン」があって、このプランの中で児童虐待等の対策も重点項目として挙げています。「子ども・子育て応援プラン」には重点施策が 6 本ありますが、その中で担当課と調整した結果、総合計画に盛り込む重点施策として現状の重点施策を挙げているという状況です。「虐待」という観点の追加については、もちろん大事な取組みでありますので、担当課の方と調整させていただきます。</p>
今川会長	<p>虐待は全国的に増え続けていますが、和泉市でも増えているのでしょうか。</p>
石原委員	<p>はい。大阪府は特にそうです。</p>
今川会長	<p>それでは、是非、検討をお願いいたします。</p>
石原委員	<p>◆ No.17 について</p> <p>貧困の件で意見を出していますが、昨日、テレビで子どもの貧困による社会的損失が 4 兆円という報道がありました。子どもが平等に学習支援、経済的支援を受けることは権利だと思いますので、現在、調整中となっていますが、その点についてしっかりと取り組んでいただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>よろしく検討をお願いいたします。他にご意見はございませんか。</p>
佐藤委員	<p>◆ No.11 について</p> <p>「結婚・出産の希望をかなえる環境づくり」について、隣の高石市は、以前「新婚さんいらっしゃい計画」で新婚の方に毎月 3 万円を 3 年間補助する事業を行いました。失敗してしまい、3 年経って補助が出なくなると、彼らは他のまちに移ってしまいました。</p> <p>和泉市は、東京から転勤して来た人から「大阪市内に出るにも 1 時間かからないし、緑が多くて素晴らしいところだ」と言われますので、あとは若い人たちがどうすれば根付いてくれるのかということが課題になりますが、具体的に経済的援助等をした方が良いのではないかと思います。この計画では、具体的に話が出ていませんが、その辺りについては何か考えられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>高石市の家賃補助の話がありましたが、現在、和泉市には家賃補助の仕組みはありません。確かに、若い世代に根付いていただくのはなかなか難しいと感じていますが、経済的援助についても延々と続けていくのは難しいと考えており、補助期間を区切るのであれば、家賃補</p>

今川会長	<p>助と同じようになることも想定されるのではないかと思います。その点については、検証や他の市町村の事例も踏まえながら、今後、検討していければと思いますが、現状ではそこまで踏み込んだ施策の予定はありません。</p>
菊池委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>◆ No.16 について</p> <p>16 については、就学後の取組みと考えて「国の『総合戦略』に掲げられた方向性と合致しないため掲げておりません」という対応方針が出ていますが、私の考えでは、就学する7歳と、6歳や5歳を線引きするのは難しいと思います。「国からこうだから」というのではなく、体幹が強化される時期であれば、もっと柔軟性を持って「しかし、和泉市では5歳からやります」という独自性が必要だと思います。</p>
事務局	<p>今回は本市の総合戦略についてご議論をいただいているところであり、前回の会議でもお示ししました本市の総合戦略については、総合計画の重点施策の中から、東京一極集中の是正や若い世代の就労、結婚、子育ての希望を叶えるという方向性に合致する施策を抽出し、体系づけて、総合戦略としていくこととしています。</p> <p>その上で、もちろん、菊池委員が言われている部分は非常に大事な取組みであると考えており、総合計画の中ではきちんと取り組んでいくという方向は示していますが、総合戦略に限って述べますと、今回の本市で取組みを進めてきた体系とは方向性が異なるということで総合戦略には掲げていません。総合計画の中で取り組んでいきたいと考えています。</p>
今川会長	<p>いかがでしょうか。私も思うのですが、あまり「国が」という表現は使わずに、取り組むのは和泉市ですので、前向きに「和泉市は」という表現にさせていただきたいと思います。</p>
橋本委員	<p>◆ 子育てしやすい市としての取組みについて</p> <p>保護者の負担軽減について、行政の方では家賃補助等、いろいろな形で補助を行っていると思いますが、就学前の子どもについては保育料の軽減が一番大きいと思います。以前、マスコミで、ある小さな村が保育料を全額無料にしたところ、出生率が2%以上上がったという報道がありましたので、保護者負担の軽減は絶対必要条件ではないかと思います。和泉市も「子育てしやすい市」として大阪府の上位にある中では、それを継続していくことが大事ではないかと思っています。</p>
今川会長	<p>財政状況の問題等、いろいろとありますので、またご検討いただければと思います。他にご意見はございますか。</p>
山本委員	<p>◆ KPI（重要業績評価指標）の立て方について</p> <p>11 ページも入っていますので、お聞きしたいのですが、11 ページに「乳幼児健康診査受診率」として基準値 93%、目標値 94%が立てられています。それで、全体的に言えると思</p>

	<p>いますが、KPI の立て方の意味がよく分かりません。先ほど、市の方からも言われたとおり、総合戦略は、東京一極集中型から企業を誘致して和泉市の人口を増やしていこうというものですので、その成果指標として KPI で受診率を上げるよりも、その分母を上げることが大事ではないでしょうか。受診する人口を増やすことが大事であって、受診率は人口が減っても上がることもあるわけですので、総合戦略の目的からすると、受診率を KPI に掲げるのは違和感があります。</p> <p>掲げられているのは手段、アウトプットの部分なので、アウトカム部分を KPI として掲げた方が良いと思います。合計特殊出生率を上げるというのは分かるので、移転する人数を上げるとか、総合戦略として必要としている目標を掲げた中で、その枝葉にそれを達成するための施策がぶら下がるというのであれば良いのですが、上の部分の設定が全体的にないと私は感じています。それについてはいかがでしょうか。</p>
今川会長	<p>事務局から説明はありますか。</p>
事務局	<p>乳幼児健診の受診率の成果指標の設定については、93%から94%とあまり伸びていないような印象をお持ちかと思いますが、すでに高い数値の中で1%上げるのは、いろいろな努力をしなければなりません。例えば、受診率の向上については、保健師の方に各世帯を訪問していただく形で頑張らせていただいております。それによって、安心して子育てできるまちづくりを1つの指標として示していると考えています。</p> <p>また、指標の設定に関してご指摘がありました。総合戦略では、このような指標を設定することになっています。委員の皆様はいろいろな捉え方をされていると思いますが、総合戦略における指標の設定には、事業の結果によるアウトプットと、成果によるアウトカムの2種類が考えられ、もちろんアウトカムの設定が望ましいと考えられるものの、成果を測るのは現実的に難しいというのが現状です。</p> <p>そうした中で、今回、総合戦略の案でお示ししている指標について、アウトプットが多いという印象だというご指摘ですが、事務局としては、今まで指標を考える中で単純なアウトプットにはならないように心掛けてきたところです。例えば、10 ページの下段の「観光カップリングツアーの年間参加者数」が1つの例です。これは単なるアウトプットであれば、開催数を指標にするところですが、それでは成果を測るのに適切ではないと考え、開催数ではなく、参加者数という位置づけで設定しています。これには当然、回数の増加も必要ですが、参加者数を増やすためのPRや、良い評判をとってツアーを継続的に実施していくという取組みがなければ参加者数は増えないと考えており、総合戦略案で示している指標については、事業を実施することによる結果としてどうなるかということも踏まえて、事務局としてはできる限りの指標を設定したところです。</p>
今川会長	<p>重要なお指摘を頂きましたが、これを議論すると非常に時間がかかるように思います。カップリングツアーも実際に参加者数が多ければ、カップルとなって定住してもらえるかということまでは把握できませんし、ほとんどが実際には分かりません。ただ、可能性としては、参加者数が多い方が結び付く可能性が高いだろうというくらいしか統計上は出ていない</p>

	<p>と思います。なかなか難しいところです。</p> <p>受診率の方も、安全・安心なまちということで、何らかの受診率をさらに高めるように市が支援をしていけば、予防効果も高まって「安全・安心なまち」と認識されて、定着人口が増えるのではないかという、これも1つの予測の下で進められていることだと思います。多くのまちが大体このように作っています。</p>
山本委員	<p>少なくとも、受診率を指標にするならば、市として無料の受診の数を増やして、他都市と比べて、和泉市は出産しやすいまちである等、そういうことを指標にしなければならないと思います。今のままでは、人口が減って分母が下がっても受診率は上がる場合があるわけですから、その点をきちんと踏まえなければ、このような指標を出す意味がなくなってしまいます。それは指摘しておきます。</p>
今川会長	<p>ご指摘のように、目標に向けて施策もどのように展開していくかということも含めて、ご検討をお願いいたします。</p>
事務局	<p>今、ご指摘いただいた評価指標については、原課とも調整いたしまして、検討させていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
今川会長	<p>他にご意見はございませんか。(意見等、なし)</p> <p>今、指標については重要なご指摘がありましたので、他の箇所でもいろいろと見直し等をしていただければと思います。</p>
今川会長	<p>● 19～23について</p> <p>それでは、19～23について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料1 19～23について説明)</p>
今川会長	<p>まずは、ご意見を出された委員から追加のご説明がありましたら、お願いいたします。(補足説明等、なし)</p> <p>それでは、その他の委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p>
村上委員	<p>◆ No.23 について</p> <p>No.23で桃山学院大学の名前を出していただき、事務局対応方針でこのように書いていただいて有難く思っています。学年所管に聞いたところ、かなり具体的なレベルまで調整が進んでいるようですので、どうぞご期待ください。</p>
今川会長	<p>ありがとうございます。是非、期待したいと思います。これは地域の大学との積極的な連携ですので、機関名を出すか否かであり遠慮されない方が良いのではないかという感想はあります。ご検討いただければと思います。</p>

	<p>他にご意見はございませんか。(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>● 28～32について</p> <p>それでは、続いて28～32について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料1 28～32について説明)</p>
今川会長	<p>それでは、28～32についてご意見を出された委員の方から補足説明、あるいはご意見がありましたら、お願いいたします。</p>
松田委員	<p>◆ No.30 について</p> <p>JAですが、No.30で担当課と調整中です。農業振興はJAの大きな役割の1つですので、そういう意味から、JAでも営農ビジョンを策定したところですので、今後、JA管内の行政と調整するということですので、このような農業振興の分野についてはJAと行政が一体となって取り組む部分が多いかと思えます。調整をよろしくお願いいたします。</p>
今川会長	<p>ありがとうございます。それでは、調整をよろしくお願いいたします。</p> <p>他の委員の方は28～32について、ご質問、ご意見はございませんか。(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>● 33～34について</p> <p>それでは、33～34について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料1 33～34について説明)</p>
今川会長	<p>まず、意見を出された委員の方で追加説明はございますか。(追加説明等、なし)</p> <p>それでは、その他の委員の方でご意見がございましたら、お願いいたします。</p>
村上委員	<p>◆ No.33 について</p> <p>No.33の基本的な整備について、ヤフー等のアンケートを見ますと、外国人観光客が一番求めるのは、施設の多言語化よりも、取り敢えずは無料Wi-Fiのようですので、そのようなアンケートも参考にさせていただくと良いのではないかと思います。</p> <p>◆ No.34 について</p> <p>No.34については、本学にご期待いただきまして、ありがとうございます。基本的には、和泉市の方針や本学の担当所管の意向等を調整することになると思いますが、すでに実施しているものが3つあります。1つは、ホストファミリーの受け入れ、もう1つは「MOMO(もも)たん英語KIDSクラブ」という子ども向けの英語教室で、こちらは毎回抽選があるくらい人気がある講座です。3つ目は近隣の小中学校からの派遣要請に応じるもので、昨年度は7校に派遣しているという例もあります。</p>

今川会長	具体的にご説明いただき、ありがとうございました。
事務局	先ほど、外国人が喜ばれるのは Wi-Fi というお話がありましたので、具体的な受け入れ態勢の強化の中で、現状は映像やパンフレットの作成、表示板の設置となっていますが、そういう文言を盛り込むことができるかどうか、担当課と調整したいと思います。
今川会長	是非、お願いします。京都は看板の表示が遅れていると思ったら、Wi-Fiの方が進んでいて、外国人観光客は道案内もネット上で検索しています。そちらも重要だと思いますので、是非ご検討いただければと思います。 何か他にご意見はございませんか。(意見等、なし)
今川会長	● 35～38 について 次に、35～38について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1 35～38について説明)
今川会長	まず、ご意見を出された委員の方からご発言をお願いします。
椎場委員	◆ No.36 について No.36の20ページについて、事務局の説明に対して、できれば認知症対策の項目を1項目挙げていただきたいと思います。現在は認知症に関する文章が全くなくて、20ページの表に「和泉市認知症高齢者等 SOS おかえりネットワークにおける見守り登録者数」が入っているだけなので、是非とも1本立ちさせて、認知症対策を検討していただきたいと思います。 ◆ No.37 について 防犯カメラについては、現在、1校区数ヶ所、少ないところは2～3ヶ所なので、これでは将来的に犯罪の予防はできないのではないかと思います。したがって、できれば府中や商店街等、犯罪の多いところには「防犯カメラが多い」と実感できるくらい集中して対策をとっていただいた方が良いと思います。
今川会長	2点ありましたが、事務局からは何かありますか。
事務局	認知症対策の項目については、それに関連するところとして、総合計画のP91の「重点施策32」に「和泉市認知症高齢者等 SOS おかえりネットワーク」という項目があります。また、総合計画の57ページの「重点施策13 高齢者の積極的な社会参加と介護予防の推進」という項目等において、認知症対策の項目の盛り込みの検討をしたいと思っています。総合戦略においては、この場所で挙げていましたが、下の具体的取組みを見ますと記載が漏れていますので、そちらのテーマに盛り込む形で担当課と調整いたします。よろしく願いいたします。

今川会長	<p>それでは、調整をよろしくお願いたします。防犯カメラについても説明がありますか。</p>
事務局	<p>防犯カメラについては、現在、担当の危機管理の方で犯罪対策上必要な場所への設置や、あるいは教育委員会の方で児童の安全対策として、子どもの通学路等への防犯カメラの設置を計画しており、そちらを予算要求していると聞いています。したがって、予算の関係もありますが、必要な箇所に対する防犯カメラの設置は担当課において進めているところです。</p>
今川会長	<p>よろしくお願いたします。 今の 35～38 で意見を出された委員の方は、他に補足説明はございませんか。 (補足説明等、なし) それでは、その他の委員の方でご指摘の箇所がありましたら、お願いたします。</p>
岡委員	<p>◆ 防犯カメラの設置について 防犯カメラは、今、かなり技術が進んでいて、交通の要所の信号機のところにカメラが付いていると聞いています。また、ゴミの不法投棄防止のためのカメラも計画されています。学校の対策もそうですが、そのようにいろいろなカメラが計画されている中で、全体的に網羅するような連携をとって、満遍なく設置していただきたいと思います。お願いたします。</p>
今川会長	<p>先ほど、事務局から説明がありましたように、積極的に検討していただくということです。その他、何かございますか。</p>
佐藤委員	<p>防犯カメラについては、今や市民が安全・安心に生活できる基盤となっていますので、箕面市のように緊急予算を取って、一気に防犯カメラを増やすような取組みをしていただければと思います。タウンミーティングでも取り上げられていますが、「それは分かっているから、ぼちぼち予算をとります」というような説明ではなく、安全・安心は時間の問題ですので、特に市議会議員の方も頑張って予算を獲得していただきたいと思います。もうプライバシー云々とは言うておられませんし、最近、防犯カメラは常識になっていますので、「あのまちに行くと防犯カメラが多いので安全で安心」と認識されると、母親たちが和泉市の方に移って来る可能性もあります。是非、力を入れてほしいと思います。</p>
今川会長	<p>ありがとうございます。また、ご検討をよろしくお願いたします。 他の委員の皆様は、ご意見ございませんか。</p>
石原委員	<p>◆ 認知症サポーターについて 認知症サポーターの件で再検討するという事なので、意見だけ述べさせていただきたいと思います。今、認知症サポーターの養成講座を各地域や事業所で行っていただいていると思いますが、その中で認知症高齢者の SOS ネットワークの登録者数が必ずしも一致していないというのが現状です。</p>

	<p>したがって、できましたら認知症サポーターとして登録された方は、自分自身のスキルアップもそうですし、見守る目が多ければ、徘徊されている方を逸早く見つけることができ、事件、事故から守ることができますので、そういう目を増やすためにも SOS ネットワークの登録者数をできる限りイコールになるような取組みを検討していただきたいと思います。安全・安心なまちづくりのためには必要だと思しますので、よろしくをお願いします。</p>
今川会長	<p>ご意見として承ります。よろしくをお願いします。 他に委員の皆様からご意見、ご質問はございますか。(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>● 39～41について</p>
事務局	<p>それでは、最後の 39～41 について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料 1 39～41 について説明)</p>
今川会長	<p>ご意見を出された委員の方から補足説明はございませんか。(補足説明等、なし) それでは、その他の委員の皆様から、ご指摘、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
今城副会長	<p>◆ 災害要支援者に対する支援の枠組みづくりについて 地域、コミュニティの担い手は、まさに町会連合会が負っていく部分であろうかと思っております。災害要支援者に対する支援者の枠組みづくりが本日から校区ごとに始まりますが、やはり自助・共助とは言っても、互いに助け合う部分において、支援に走る人の家が離れていけば、激甚災害等の場合はどうしようもない部分があります。そうすると、どうしても隣近所、向こう三軒両隣による避難体制の枠組みづくりが必要ですので、それを地域のコミュニティでも作っていきたく思っています。しかしながら、地域にはそれぞれの事情がありますので、なかなか取組みが進行していないのも事実です。</p>
今川会長	<p>それはもっと強調して書くべきだということでしょうか。</p>
今城副会長	<p>そういう意味ではなく、関係課と調整中ということについての補足の意見です。</p>
今川会長	<p>今のご指摘を受けて調整をお願いいたします。 その他、ご意見、ご質問はございますか。(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>● 今後の進め方について 本日は提出していただいた意見に基づいて、一応の検討作業を終了いたしました。次回は調整中のところと、本日検討していただいた箇所についても、さらにご意見等がございましたら、そちらも含めて議論したいと思いますが、さらに指摘したい点、あるいはすべき点がおありの方は挙手をお願いします。(挙手あり) それでは、次回になりますが、12月10日までに事務局にご意見の提出をお願いします。</p>

佐藤委員	<p>◆ 次回に審議してほしい内容について</p> <p>合計特殊出生率について、国が示す 2.07 の実現に向けて取り組んでいきたいということですが、2.07 は非現実的な数字だと思いますので、もっと現実的な数字を出してほしいと思います。0.1 上げるだけでも大変だと思います。沖縄県は 2.0 前後ありますが、これはお金の問題ではなくて、「うつぐみの精神」という互いに助け合って生きるという独特の風土が根底にあります。つまり、出産しても、認知症になっても、互いに助け合っていけるという精神が風土にあるわけです。</p> <p>和泉市のまちづくりにおいても、単純に出生率を上げるというだけではなく、皆が助け合って生きるようなまちづくりをしていただきたいと思います。これは、特に費用はかからないので、これからのまちづくり、風土づくりで目指していくと良いのではないかと思います。</p>
今川会長	<p>今の点は、次回にもう少し審議すべきだというご指摘でよろしいでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>はい。</p>
今川会長	<p>それでは、そういう点も含め、人口ビジョンも含めて、次回、再度意見交換できればと思います。いずれにしても、今回は調整中の項目と、全体にわたる意見について調整を図れると良いと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>さらに、ご意見を出されたい方がおられましたら、12月10日まで、事務局にご意見を出して頂きますよう、お願いいたします。</p> <p>それでは、本日の審議はこれで終了とさせていただきますが、一旦、事務局の方にお返しいたします。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>本日は、長時間にわたり、ご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。総合戦略案、人口ビジョン案に対するご意見をいただける委員の方におかれましては、12月10日(木)までに事務局までご提出いただけますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、前回の会議でお示したスケジュールでは、総合計画案の将来ビジョンについてのご意見の締め切りは12月7日(月)としておりましたが、こちらについても先ほどの締め切りと合わせまして、12月10日(木)に変更させていただきたいと考えておりますので、併せてよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それから、第1回会議録案についても、修正点等がございましたら、同じく12月10日までにご連絡くださいますようお願い申し上げます。修正点等がなければ、会議録として確定させていただき、ホームページ等で公開したいと思っております。</p> <p>また、本日の会議録につきましては、メールまたは郵送等でご連絡を差し上げたいと思います。</p> <p>次回の会議は、12月18日(金)午後2時から、前回の会議場所でした和泉市役所3号館市議会委員会室で開催させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>委員の皆様には、今後の審議会におきましても、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い</p>

今川会長	<p>いたします。</p> <p>ありがとうございます。次回も引き続き、総合戦略案について審議してまいります。委員の皆様方にはご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>副会長から何かコメントはございませんか。</p>
今城副会長	<p>結構です。</p>
今川会長	<p>それでは、これで第 2 回和泉市総合計画審議会を終了させていただきます。皆様、ご協力をいただきまして、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>